

2021年10月28日

各位

世界最大幅の大型TV用光学フィルム製造ライン増設を決定

日本ゼオン株式会社

日本ゼオン株式会社（社長：田中 公章）は、福井県敦賀市の光学フィルム工場において、大型TV向け位相差フィルムの製造ライン2系列目の増設を決定いたしました。新ラインは2023年10月の量産開始を予定しています。

当社は、光学フィルム（製品名：ZeonorFilm[®] 以下、ゼオノアフィルム）を、当社グループ企業で製造子会社である株式会社オプテス*1 北陸工場の3拠点：高岡製造所（富山県）、氷見製造所（富山県）、敦賀製造所（福井県）で製造しています。

ゼオノアフィルムは、当社が独自のポリマー設計技術で開発した熱可塑性プラスチック（シクロオレフィンポリマー）を原料に用い、世界初となる溶融押出法により生産された光学フィルムです。シクロオレフィンポリマーの特長である高い光学特性と優れた寸法安定性を有しており、大型TVやモバイル機器のディスプレイに視野角補償や反射防止等の機能を持たせる、位相差フィルム用途を中心に需要が拡大しています。

今回の投資は、液晶パネルの大型化に対応して2020年4月より稼働した世界最大幅（2,500mm幅クラス）の位相差フィルム製造ラインの2系列目となります。新ラインの生産能力は、1系列目と同じく年間5,000万㎡の計画で、2系列合計で10,000万㎡、既設の能力と併せてTV向け位相差フィルムの生産能力はトータル21,900万㎡となります。液晶用ガラス10.5世代*2のサイズに対応した液晶パネル設備が世界中で順次稼働する中、当該サイズにマッチしたパネルの取り効率が良い2,500mm幅の生産ライン増強は環境負荷低減にも大きく貢献することが期待されます。

なお、今回の増設ラインの量産開始は2023年10月を予定しており、操業人員の新規雇用を計画しております。

当社では、今後も市場ニーズを捉え社会の期待に応えるとともに、人々の快適な暮らしに貢献してまいります。

以上

*1：株式会社オプテスは2022年1月1日に日本ゼオン株式会社に吸収合併予定（2021年5月発表）

*2：液晶パネル工場は、基板ガラスの大きさに応じ〇〇世代と呼称しており、10.5世代は最大級の2,940×3,370mm

本件に関するお問い合わせ先

日本ゼオン株式会社 コーポレートサステナビリティ統括部門 広報室 電話：03-3216-2747